

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【公表番号】特表2016-534800(P2016-534800A)

【公表日】平成28年11月10日(2016.11.10)

【年通号数】公開・登録公報2016-063

【出願番号】特願2016-526863(P2016-526863)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月24日(2017.10.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

胃切除術用デバイスであって、

近位端および遠位端を有する細長い部材であって、前記細長い部材は、

前記遠位端に隣接して配置されている縦側面窓と、

前記縦側面窓と連通している第 1 の縦チャンネルと、

複数の側面開口と、

前記複数の側面開口と連通し、圧力源に連結するために構成されている第 2 の縦チャンネルと

を画定する、細長い部材と、

前記第 1 の縦チャンネルを通して延び、近位端および遠位端を有する管と、

照明を提供するために前記管に関連付けられているライトのアレイと

を備え、

前記管は、前記管が前記細長い部材の前記第 1 の縦チャンネル内に配置されている第 1 の状態と、前記管の一部が前記細長い部材の前記縦側面窓を通して延びている第 2 の状態との間で、前記細長い部材を通して移動可能である、胃切除術用デバイス。

【請求項 2】

前記管内に配置されている細長いプリント回路基板をさらに含み、前記細長いプリント回路基板は、その上に配置された前記ライトのアレイを有する、請求項 1 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 3】

前記ライトのアレイは、LEDを含む、請求項 1 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 4】

前記細長い部材の前記近位端に連結されているハンドルアセンブリをさらに含み、前記管は、前記ハンドルアセンブリを通して平行移動可能である、請求項 1 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 5】

前記ハンドルアセンブリは、前記ライトのアレイに電氣的に接続されている電源を含む、請求項 4 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 6】



前記電源は、バッテリーを含む、請求項 5 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 7】

前記ハンドルアセンブリに取り外し可能に連結されている起動ストリップをさらに含む、請求項 6 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 8】

前記ハンドルアセンブリは、前記細長い部材の前記第 2 の縦チャンネルと流体連通しているルーアアセンブリを含み、前記ルーアアセンブリは、前記圧力源に接続するために構成されている、請求項 4 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 9】

前記圧力源は、前記複数の側面開口において陰圧または陽圧のうちの少なくとも 1 つを提供する、請求項 8 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 10】

前記細長い部材の前記遠位端は、無線受信機を有する、請求項 1 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 11】

前記細長い部材は、可撓性材料で形成されている、請求項 1 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 12】

前記細長い部材は、前記第 2 の状態で弧を形成する、請求項 1 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 13】

前記管は、その前記近位端に固定されたアクチュエータを有する、請求項 1 に記載の胃切除術用デバイス。

【請求項 14】

肥満手術を行うためのシステムであって、

胃切除術用デバイスであって、前記胃切除術用デバイスは、

近位端および遠位端を有している細長い部材であって、前記細長い部材は、

前記遠位端に隣接して配置されている縦側面窓と、

前記縦側面窓と連通している第 1 の縦チャンネルと、

複数の側面開口と、

前記複数の側面開口と連通している第 2 の縦チャンネルと

を画定する、細長い部材と、

前記細長い部材を通して延び、近位端および遠位端を有する管と、

照明を提供するために前記管に関連付けられているライトのアレイと

を含み、

前記胃切除術用デバイスは、患者の口腔に挿入されるように構成され、前記胃切除術用デバイスは、腸内経路に沿って誘導されるように構成され、前記管は、第 1 の状態から第 2 の状態に移動可能であり、前記第 2 の状態において、前記管は、前記細長い部材の前記縦側面窓を通して外向きにしなり、胃の一部と係合する、胃切除術用デバイスと、

照射された前記管の観察された位置に基づいて、前記胃切除術用デバイスを前記患者の胃内の選択された位置に再配置するための手段と、

前記胃の一部を離断するための手段と

を備える、肥満手術を行うためのシステム。

【請求項 15】

前記胃切除術用デバイスは、前記腸内経路に沿って誘導されるように、口腔から食道を通して前記胃の洞の中へ前進させられるように構成されている、請求項 14 に記載の肥満手術を行うためのシステム。

【請求項 16】

前記第 2 の縦チャンネルを通して前記複数の側面開口から外へ流体を吹き込むための手段、または



前記胃の前記洞から前記複数の側面開口を通して前記第２の縦チャンネルの中へ流体を真空吸引するための手段

のうちの少なくとも１つをさらに備える、請求項１５に記載の肥満手術を行うためのシステム。

【請求項１７】

前記管の前記近位端は、前記第１の縦チャンネルを通して前記細長い部材に対して遠位にスライドすることにより、移動するように構成されている、請求項１４に記載の肥満手術を行うためのシステム。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００２２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００２２】

いくつかの実施形態では、管を移動させることは、第１の縦チャンネルを通して細長い部材に対して遠位に管の近位端をスライドさせることを含み得る。

本願明細書は、例えば、以下の項目も提供する。

（項目１）

胃切除術用デバイスであって、

近位端および遠位端を有する細長い部材であって、前記細長い部材は、

前記遠位端に隣接して配置されている縦側面窓と、

前記縦側面窓と連通している第１の縦チャンネルと、

複数の側面開口と、

前記複数の側面開口と連通し、圧力源に連結するために構成されている第２の縦チャンネルと

を画定する、細長い部材と、

前記第１の縦チャンネルを通して延び、近位端および遠位端を有する管と、

照明を提供するために前記管に関連付けられているライトのアレイと、

を備え、

前記管は、前記管が前記細長い部材の前記第１の縦チャンネル内に配置されている第１の状態と、前記管の一部が前記細長い部材の前記縦側面窓を通して延びている第２の状態との間で、前記細長い部材を通して移動可能である、胃切除術用デバイス。

（項目２）

前記管内に配置されている細長いプリント回路基板をさらに含み、前記細長いプリント回路基板は、その上に配置された前記ライトのアレイを有する、項目１に記載の胃切除術用デバイス。

（項目３）

前記ライトのアレイは、ＬＥＤを含む、項目１に記載の胃切除術用デバイス。

（項目４）

前記細長い部材の前記近位端に連結されているハンドルアセンブリをさらに含み、前記管は、前記ハンドルアセンブリを通して移動可能である、項目１に記載の胃切除術用デバイス。

（項目５）

前記ハンドルアセンブリは、前記ライトのアレイに電氣的に接続されている電源を含む、項目４に記載の胃切除術用デバイス。

（項目６）

前記電源は、バッテリーを含む、項目５に記載の胃切除術用デバイス。

（項目７）

前記ハンドルアセンブリに取り外し可能に連結されている起動ストリップをさらに含む



、項目 6 に記載の胃切除術用デバイス。

(項目 8)

前記ハンドルアセンブリは、前記細長い部材の前記第 2 の縦チャンネルと流体連通しているルアーアセンブリを含み、前記ルアーアセンブリは、前記圧力源に接続するために構成されている、項目 4 に記載の胃切除術用デバイス。

(項目 9)

前記圧力源は、前記複数の側面開口において陰圧または陽圧のうちの少なくとも 1 つを提供する、項目 8 に記載の胃切除術用デバイス。

(項目 10)

前記細長い部材の前記遠位端は、無線受信機を有する、項目 1 に記載の胃切除術用デバイス。

(項目 11)

前記細長い部材は、可撓性材料で形成されている、項目 1 に記載の胃切除術用デバイス。

(項目 12)

前記細長い部材は、前記第 2 の状態で弧を形成する、項目 1 に記載の胃切除術用デバイス。

(項目 13)

前記管は、その前記近位端に固定されたアクチュエータを有する、項目 1 に記載の胃切除術用デバイス。

(項目 14)

肥満手術を行う方法であって、  
胃切除術用デバイスを提供することであって、前記胃切除術用デバイスは、  
近位端および遠位端を有している細長い部材であって、前記細長い部材は、  
前記遠位端に隣接して配置されている縦側面窓と、  
前記縦側面窓と連通している第 1 の縦チャンネルと、  
複数の側面開口と、  
前記複数の側面開口と連通している第 2 の縦チャンネルと  
を画定する、細長い部材と、  
前記細長い部材を通して延び、近位端および遠位端を有する管と、  
照明を提供するために前記管に関連付けられているライトのアレイと  
を含む、ことと、  
前記胃切除術用デバイスを患者の口腔に挿入することと、  
腸内経路に沿って前記胃切除術用デバイスを誘導することと、  
照射された前記管の観察された位置に基づいて、前記胃切除術用デバイスを前記患者の胃内の選択された位置に再配置することと、  
第 1 の状態から第 2 の状態に前記管を移動させることであって、前記第 2 の状態において、前記管は、前記細長い部材の前記縦側面窓を通して外向きにしなり、前記胃の一部と係合する、ことと、  
前記胃の一部を離断することと  
を含む、肥満手術を行う方法。

(項目 15)

前記腸内経路に沿って前記胃切除術用デバイスを誘導することは、口腔から食道を通して前記胃の洞の中へ前記胃切除術用デバイスを前進させることを含む、項目 14 に記載の肥満手術を行う方法。

(項目 16)

前記第 2 の縦チャンネルを通して前記複数の側面開口から外へ流体を吹き込むこと、または  
前記胃の前記洞から前記複数の側面開口を通して前記第 2 の縦チャンネルの中へ流体を真空吸引することのうちの少なくとも 1 つをさらに含む、



項目 1 5 に記載の肥満手術を行う方法。

( 項目 1 7 )

前記管を移動させることは、前記第 1 の縦チャネルを通して前記細長い部材に対して遠位に前記管の前記近位端をスライドさせることを含む、項目 1 4 に記載の肥満手術を行う方法。